

共同研究講座・寄付講座等名： スポーツ施設・環境研究講座

研究代表者名： 和氣 秀文

開設の目的・概要 等			本共同研究講座の主要目的は、競技者のパフォーマンスに影響を及ぼす環境要因を明らかにすることである。そのため下記の4つの目的を持って研究を遂行する。①競技者がパフォーマンスを最大限に発揮できる施設の特徴を明らかにする。②競技者がパフォーマンスを最大限に発揮できる素材を明らかにする。③競技者がパフォーマンスを最大限に発揮できる「施設構造」などの環境要因の影響を明らかにする。④オフィスで働く人々がハイパフォーマンスを発揮できる環境を検討する。			
区分	番号		発表者名	発表タイトル（題目・演題・課題等）	学会名, 場所, 発表年月日等	国際共同
国際学会発表	1		K Hata, H Noro, Y Yamazaki, T Fukunaga, R Nagahara, T Yanagiya	Step-to-step changes in lower limb muscle activity during the acceleration stage of sprinting.	XXIX Conference of the International Society of Biomechanics, Fukuoka, JPN, Aug 2, 2023	
国際学会発表	2		H Noro, S Akahoshi, K Hata, Y Yamazaki, M Ishikawa, S Matsui, RY Lee, K Yamazaki, T Yanagiya	Markerless sagittal plane kinematic analysis of sprint running: Comparison between a deep learning analysis and manual digitization.	XXIX Conference of the International Society of Biomechanics, Fukuoka, JPN, Aug 1, 2023	
区分	番号		発表者名	発表タイトル（題目・演題・課題等）	学会名, 場所, 発表年月日等	国際共同
国内学会発表	1		和田希来里、米田継武、和氣秀文、山中航	Autonomic responses at different times to emotional changes during sports video viewing.	第101回日本生理学会大会、北九州国際会議場、2024年3月29日	
国内学会発表	2		和田希来里、和氣秀文、山中航	スポーツ映像視聴によって惹起される情動と自律神経関連応答	第50回自律神経生理研究会、東京都健康長寿医療センター研究所、2023年12月2日	
国内学会発表	3		渡部宙、出嶋彩佳奈、柘植航太、山田泰行	陸上競技イベントの満足度を高める参加型改善の実践－日本選手権リレー・リレーフェスティバルの事例から－	第58回人類動態学会全国大会、会津大学、2023年2023年11月18日	